

平成30年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	55	学校名	県立石岡商業高等学校						課程	全日制		学校長名	大和田 綾子			
教頭名	山本 俊之								事務長名	水野谷 功						
教職員数	教諭	26	養護教諭	1	常勤講師	0	非常勤講師	3	実習教諭	1	事務職員	2	技術職員	1	計	43
			養護助教諭	1					実習講師	1			学校用務員	2		
									実習助手	2						
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	商業科		35	45	31	46	28	41			94	132	6クラス			
	情報処理科		29	11	20	14	15	17			64	42	3クラス			

2 目指す学校像

生徒の人格を重んじ、地域社会の要請に応えながら激しく変化する社会に柔軟に対応できる力を育むと共に、社会に有為な調和のとれた人間の育成に努める。

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
学習指導	授業の工夫改善やICT教材を活用した基礎学力の養成を図ることで、学習意欲の向上を目指している。資格取得では、全商協会主催の検定試験1級3種目以上合格者が17名と前年度より増加した。	学習意欲を喚起するような様々な工夫が必要である。進路目標を実現するための基礎学力の定着と資格取得を可能とする体制づくりが課題である。
進路指導	進路は多岐にわたっており、生徒の能力・適性に応じた指導が必要である。平成29年度卒業生の内定状況は、進学・就職ともに100%であった。また、商業の学習を活かした大学進学や就職で実績を残した。	求人開拓を図るとともに、3年間を見通したキャリア教育を推進し、進路に対する意識を高め、進路実現に結び付けていくことが課題である。
生徒指導	服装・頭髪・登校指導を定例で行い、基本的な生活習慣の確立に努めた。遅刻や問題行動は減少傾向にあるが、SNSによるトラブルが増加している。	全職員による指導を継続して行うとともに、さらなる規範意識の高揚を図ることが課題である。
特別活動	文化祭やクラスマッチなど学校行事に対して、熱心に取り組む姿が見られた。部活動については、年間を通して継続した活動ができるような取り組みが必要である。	学校行事や部活動等の充実により、学校生活に張り合いを持たせ多様な興味関心に対応できる環境づくりを図ることが課題である。

4 中期的目標

- ・多様化している生徒の進路希望に対応した教育課程を編成し、確かな学力の養成を図る。
- ・入学当初から組織的・系統的なキャリア教育を実践し、生徒の進路実現を図る。
- ・個人面談・教育相談体制を充実させ、生徒理解と信頼関係の醸成に努め、いじめの未然防止を図る。
- ・全職員による生徒指導を通して、基本的生活習慣の定着と規範意識の高揚及び自己指導能力の育成を図る。
- ・特別活動の充実を通して、主体性・自律性を育むとともに豊かな人間性を培う。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 授業の工夫・改善を図り、確かな学力を育む	①指導方法の工夫・改善を図り、基礎学力の向上を図る。 ②資格取得を通して学力を養成し、希望進路を実現する。 ③「主体的・対話的で深い学び」のための指導の工夫・改善を行い、確かな学力を育む。
2 規範意識を醸成し、基本的生活習慣を確立する	①様々な活動を通して、規範意識・社会性・思いやりの心を育てる。 ②面談や教育相談を活用し生徒理解を深め、信頼関係を醸成する。
3 組織的・系統的なキャリア教育を推進する	①3年間を見通したキャリア教育を推進し、進路に対する意識を涵養する。 ②体験的学習を通して、基礎的・汎用的能力を育成する。
4 特別活動の充実を図り、豊かな心を育む	①特別活動を通して、心の居場所となる学級・学校づくりを推進する。 ②生徒会活動、部活動を活性化し、リーダーとなる人材の育成を図る。
5 地域や保護者から信頼される学校づくりを推進する	①中学校や地域との連携・交流を推進する。 ②地域へ積極的に情報を発信する。